



# 議会 だより

千早  
赤阪

## 一般質問

**山形 研介**

観光事業として砂防施設の活用は

**千福 清英**

中学生の登下校を安全に  
道の駅、本格オープンはいつなの？

**田村 陽**

「通学バス全面無料化の請願」への対処は  
自動車リサイクル業進出への対応を

**井上 浩一**

庁舎等の備品管理とリサイクルを考える  
高齢者のゴミ出し支援の現状

**関口 ほづみ**

学童保育の充実のために  
高齢者の生活を豊かにするために

**藤浦 稔**

府道の通行規制について  
村の防災体制について

vol. **130**

Nov 2019

9月定例会

# 9月定例会 議決結果

## ○賛否の分かれた議案

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・平成30年度千早赤阪村一般会計歳入歳出決算認定について	原案可決	議	●	○	○	○	○	○

## ○全会一致で可決された議案

・千早赤阪村役場内簡易郵便局郵便切手等購入基金条例制定について
・千早赤阪村印鑑条例の改正について
・一般職の職員の給与に関する条例及び職員の退職手当に関する条例の改正について
・千早赤阪村子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例等の改正について
・千早赤阪村国民健康保険診療所条例の改正について
・金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例の改正について
・千早赤阪村消防団条例の改正について
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号）
・令和元年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
・令和元年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第2号）
・令和元年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第2号）
・平成30年度千早赤阪村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
・平成30年度千早赤阪村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
・平成30年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
・平成30年度千早赤阪村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
・平成30年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計歳入歳出決算認定について
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第6号）
・金剛山ロープウェイ等のあり方に関する特別委員会設置について
・高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書について

## ○報告案件

・平成30年度健全化判断比率について
・平成30年度資金不足比率について

### 意見書採択

9月27日の最終日において意見書が採択され、関係する機関へ送付致しました。

## 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」（サポカーS）や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」（サポカーS）に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。

3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。



村議会議長  
**田中博治**

日頃は村議会に対してご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

▼令和元年9月議会が3日より27日までの25日間開議されました。9月議会は特に決算の議会となります。決算特別委員会を開き慎重に審議して、村議会として決算を認定致しました。決算総額は、一般会計と6つの特別会計の合計58億円となりました。6つの特別会計とは①国民健康保険(事業勘定)②国民健康保険(診療所施設勘定)③介護保険④後期高齢者医療⑤下水道事業⑥金剛山観光事業となります。

▼8月9日に開催された大阪広域水道企業団

議会に出席致しました。村議会の考えとして「民営化せずに、公営で運営することを厳守していただきたい」と申し上げました。

▼10月1日より消費税の税率が8%から10%となり、政府は増税に合わせ、飲食品と新聞の税率を8%に控え置く軽減税率を初めて導入しました。現金を使わないキャッシュレス決済へのポイント還元なども実施し、景気への影響を最小限に抑えたい考えで、増税による増収分を幼児教育や保育の無償化などに充てられます。

▼金剛山のロープウェイも心配の種で10月4日に第1回特別委員会を開催しました。

## 全員協議会報告 令和元年9月19日

(案件)  
1. 工事又は製造の請負契約報告書について

工事名：千早赤阪村保健センター他1件改修工事

2. 監査結果報告の提出について

・監査対象部署  
定期監査：議会事務局、総務課  
人事財政課

行政監査：健康福祉課、住民課

・監査期間  
平成31年4月～令和元年6月

・監査の結果  
概ね適正に執行されていると認められたが契約保証金の免除申請の提出がされていないなど不備が見うけられた。

3. 不祥事再発防止対策の取り組みについて(中間報告)

・不祥事が相次いで報道され、本村としては重く受け止め庁内にプロジェクトチームを設置した。職員の倫理、契約事務、組織体制に分類し、具体的な取り組み(対策)の検討を進め実施する。



保健センター改修工事

## 今月の表紙



森屋 **服部 莉音** ちゃん  
(はっとり りのん)

4才2ヶ月

**服部 勇人** くん  
(はっとり はやと)

1才8ヶ月

これからも元気に育ってね。

父：真佐希さん 母：菜摘さん

# 表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける  
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168 E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



## 観光事業として砂防施設の活用は



## 活用することは今のところない



### 山形研介 議員



水越川ゾーン

**問** 村には砂防施設として「水越川砂防環境整備」と、「緑の砂防ゾーンくろとが」があり、この施設を村のにぎわいづくり、観光事業として活用できないか問う。

**答** 「水越川砂防事業」

は、平成13年度に大阪府が土砂災害対策と共に環境に配慮し、溪流整備と園路等の周辺を整備した。

また、「緑の砂防ゾーンくろとが」についても平成20年度に黒梅谷溪流保全事業として、砂防工事を行った。いずれの箇所も砂防施設であり火気厳禁となっている。トイレや水道施設等を整備する予定もないことから、観光事業としての活用は考えていない。

**問** ネットの紹介では水もきれいで子どもが遊べる川遊び穴場スポットの一つに「水越川川遊び場」として載っていた。

そこで8月4日に、村のスポーツ少年団で保護者と共に川遊びを企画した。その日は日曜日であり、子ども連れの家族も多くみられ、外国人家族もおおられ、その家族の中からの感想として「水がためたくきれいで今年も2回目」とのこと。「この時季でもいいから草を刈ってもらうことができないか。」と問われている。「緑の砂防ゾーンくろとが」は年数回草刈りをおこなっているが、「水越川ゾーン」も夏季だけでも草刈りできないか。

**答** 「くろとが」については、年3回、草刈り・伐採業務などシルバー人材センターに委託している。「水越川ゾーン」は駐車場の掃除は村が行い、草刈りについては、

現在のところしていない。

**問** 水越トンネル手前のトイレは、聞くところによると河南町青崩地区の老人クラブの皆様で年数回清掃しているようだがこの点について。

**答** トイレの管理は、河南町が府から受託を受けて、掃除・トイレトペーパーの補充など青崩地区に委託している。

**問** 施設管理者としての責務は。



緑の砂防ゾーン くろとが

**答** 村が管理する施設は、区域内の「砂防設備護岸工やダム工等」以外の施設となっており、それに伴う費用も、村が負担している。草刈りについては、府が旧309号の道路法面として、年1回程度実施している。

**要望** 村のにぎわいづくりの一環として、観光・産業振興課、施設整備課と共に事業者である富田林土木事務所と協議するよう要望とする。



## 千福清英 議員

# 問 中学生の登下校を安全に

# 答 適切な村道の維持管理に努めたい



自転車通学

**問** 消防分署から中学校方面への村道は自転車通学や農耕者等が主に利用している。

**答** この道路はカーブが多く、農水路と並行しており注意しての通行が基本である。その上、道路西側の斜面は木の枝、竹等が道路に覆い被さっている見通しが悪く、倒木の危険も想定される。通行者の安全確保のため

の対策を望む。

**答** 中学生の通学路である村道赤阪城跡線は、日常管理として、年3回程

度草刈りを行っている。現状は道路端の樹木の枝が一部村道に伸びて、通行に影響を及ぼす可能性があると地元からも聞いている。

村教育委員会、中学校とも協議し、適切な村道の維持管理に努めている。

**問** これからの季節、中学生の下校時刻には日が暮れている。しかし、中学校から東阪集落までの間は防犯灯などの灯りがないため、暗く非常に危険と感じている。

また、消防分署付近の道路は複数の道路からなる交差点になっており、交通事故の危険を感じている。

**答** 村道赤阪城跡線の照明については、設置の必要性を含め協議している。

次に、消防分署付近の府道については、道路の照明灯などを含む安全対策を、今後、大阪府に要望していく。

**要望** 最近、自然災害が多く発生している中、中学生の登下校の危険を想定した対策について、村等においても実施に向けた検討を要望する。

**問** 道の駅「ちはやあかさか」は、府下で最初の

## 道の駅、本格オープンはいいつなの？

開設であり、昨年4月より、1年後の本格オープンを目指し暫定オープンとなった。様々な課題や問題のある中、イベントの開催や工夫により根付いてきたように感じられる。

**答** 今年4月よりの本格オープンを期待していたが暫定のままである。いつになれば本格オープンとなるか伺う。

**答** 暫定運営の検証も踏まえ、売店機能をどのように維持するかも含め結論を出したい。道の駅の駐車場やトイレについては整備を終

え、売店部分については、暫定運営として現在に至っている。

新たな運営について、検討委員会を立ち上げ、課題解決に向け検討を重ねている。

国が所管するサウンディング型市場調査へのエントリーの予定もしており、課題解決が必須となるが結論を出していきたい。

**要望** サウンディング調査に期待もするが、検討委員会ですっかり話し合っ、早期に方向性を出してほしい。



道の駅の店内



## 「通学バス全面無料化の請願」への 対処は



一気に無料は難しい。  
軽減できるか含めて今後検討していく



**田村 陽** 議員



小吹台へ向かう通学バス

**問** 小吹台地区の保護者が中心となって通学バスの無料化の請願書が提出されてから半年が経過した。しかし、いまだ行政

**問** 小学校は無償、中学校は有償というのは筋が通らない。保護者の方々が納得のいく料金体系であるべきだ。

から明確なアナウンスは出されていない。  
無料化の請願に対する行政の考えを伺いたい。  
**答** 小吹台地区以外の遠距離通学者への対応なども含め、総合的に考えていきたい。

**答** 小学校は統廃合により徒歩通学が困難となったことから無料としている。中学校は統廃合によるものではなく、不合理とまでは言えないと考えている。

**問** 統廃合から相当の年数が経過している。現在の保護者目線で考えるべきだ。  
**答** 一気に無料というのは難しいが、軽減できるか含めて今後検討していきたい。

**要望** 政府・府として教育費の負担軽減が推進されている現在、本村としても負担軽減に向けた具体的な施策の実現に向けて動いてもらいたい。

### 自動車リサイクル業進出への対応を

**問** 小吹台付近への自動車リサイクル業の進出を受けて環境条例が定められたが、またしても同様の事案が水分地区で持ち

**問** チラシを配布する範囲・件数は。

を継続してほしい。

**答** 特定事業者の事業進出をできる限り早く情報収集できるように、村ホームページで特定事業者の事前相談について掲載した。また、近隣宅建業者に

そのためには事業者が用地を検討している段階で役場に相談に来ていただく体制づくりが必要になる。引き続き取り組みを継続してほしい。

上がっている。  
地域住民との間で摩擦が生じることは十分に予想見できるはずであり、事業者の進出以前に何らかの対策が打てる体制を整えておくべきでは。

**答** 富田林市・河内長野市・太子町・河南町・千早赤阪村の約80件に対し配布したい。  
**要望** 事業が一旦始まってしまえば、事業者としてもそう簡単に引き返すことはできない。



環境条例 PR チラシ



## 問 庁舎等の備品管理とリサイクルを考える

### 答 費用対効果を踏まえ有効・適切に処分する

**問** 村内の各施設の備品・消耗品の管理とリサイクルについて伺う。

**答** 各課共通の物品は総務課で管理し、以外は各課で管理している。現行の財務規則も古く規定どおり整理できていないので整備をする。リサイクルは規定がなく今後検討



細かく裁断された紙

**問** シュレッダー処理後の紙や庁舎建て替えでの不用品の有効活用はどのように考えるか。

**答** 技術的な進歩で裁断された紙も処理可能になっている、不要物品等も費用対効果を踏まえ有効・適切に処分する。

する。

**問** 現状と今後の対応を伺う。

**答** 要介護認定を受けている一部の方はヘルパーが、それ以外の方は地域・親族の介助が現状。

**問** 少しでも前進のため、要支援者の把握が大事だが現状はどうか。

**答** 生活支援コーディネーター事業を昨年より千早地区で行っている、今後広げる計画だ。

**問** 社会福祉協議会への委託事業とのことだが内容と地域ケア会議について伺う。

**答** 千早地区をモデル地区とし座談会を3回開催、事業は専属1名、兼務2名で実施中。活動域を増やしていきたい。

**要望** ケア会議は地域包括ケアシステムの構築に向けて多種多様な立場の方に課題や、その対応について協議していただき連携強化をする会議だ。

ゴミ問題に関しては現状地域内で解決との意見もあり、皆で取り組むことの重要性を確認できた。

**要望** 大事な資産なので適切な管理を願う。

**要望** 施策は開始直後で細部はこれからとの事だがより多くの人が協働で解決できるよう願う。

**要望** 施策は開始直後で細部はこれからとの事だがより多くの人が協働で解決できるよう願う。

## 井上浩一 議員

### 高齢者のゴミ出し支援の現状

**問** 一人暮らしの高齢者のゴミ出し支援に対して



朝のゴミ出し



## 学童保育の充実のために



## 赤阪小学校への学童設置の必要性について改めて判断する



### 関口ほづみ 議員



放課後の児童

**問** 赤阪小への学童設置については様々な意見がある。千早小吹台小の学童は、赤阪小児童も受け入れ運営が成り立っている。私はこれまで、赤阪小学童設置について、関係者と協議をするよう求めてきた。

**答** ① 連絡協議会とは、本年4月に役員・指導員と、5月に役員・保護者と意見交換を実施した。② 登録児童数は59名。8月の1日平均利用は32名。うち赤阪小校区登録数は20名、1日平均8名。③ 施設の修繕・改修、送迎の支援など。赤阪小に学童を設置した場合は連

① 設置にあたり連絡協議会と協議をしてきたか。  
② 学童の現状はどうか。  
③ 連絡協議会としての要望はどういうものか。  
④ 学童設置の声はあるのか・運営形態は。

**答** ① 連絡協議会とは、本年4月に役員・指導員と、5月に役員・保護者と意見交換を実施した。

絡会で運営はできないなどの意見があった。  
④ 4月の校区保護者のアンケートでは36名の希望があった。公設民営を想定している。様々な意見があり、赤阪小への設置の必要性について改めて判断したい。

**問** 学童を充実するために、今何が必要かを協議し、学童を必要とする子ども、全てを受け入れられる体制を整えるために援助すべきだ。  
**答** 8月に行った、学童設置についての意見交換の中で「ぜひとも設置してほしい」という意見はなかった。今後幼児の保護者のニーズも把握して判断したい。

### 高齢者の生活を豊かにするために

**問** 長生きしても元気で暮らし、認知症予防や介護・医療費の削減につなげる施策に取り組むべき

だ。

① タクシー助成とあわせ、金剛・南海バスの運賃補助も実施し選択できるようにすべきだ。

② 高齢者ドライバーによる事故が多発している。急発進防止装置の設置費用の補助を求める。

③ 加齢による難聴で認知症につながる事例が増えている。加齢性難聴への補聴器購入助成を。

**答** ① 地域公共交通協議



路線バス

会で、バス運賃助成について要望があることを報告し、今後検討していくということになった。

② 急発進防止装置は販売業者の後付対応が進んでいない、誤作動も報告されており補助金交付は考えていない。

③ 国の障がい者への補聴器購入助成制度に、村も費用の一部を負担している。村単独での助成は考えていない。





藤浦 稔 議員

## 問 府道の通行規制について

## 答 府など関係機関に要望している



指定避難所（くすのきホール）

**問** 村広報紙7月号では、危険箇所は3カ所となっている。通行規制が発令された場合、  
① 孤立した住民を支援する手段を考えているのか。

② 通行規制発令前に、村避難所に避難させるの

か。

③ 緊急車両、消防団員、村職員などは通行可能か。

④ 通行規制箇所は、通行禁止柵や警備員の配置は、などを伺う。

**答** ① 集落等の孤立対策は、食料・飲料水など防災資機材の整備を進めている。

② 伝達マニュアルに基づき発令している。

③ ④は、当該道路は、府道であり確認したところ緊急車両など安全確認できれば通行可能、また通

行規制箇所はバリケード、警備員配置などで対応。

**問** ① 危険箇所の早急な工事を関係機関に要望することが急務ではないか。

② 以前から通行規制している危険箇所の改修は進んでいるのか。

**答** 府道富田林五条線の危険箇所は、府など関係機関に要望している。

また、他の危険箇所道路においても改修を要望していく。

**要望** 村民の安全が一番で、不安を払拭するため情報を提供し、安心感を持ってもらいたい。

### 村の防災体制について

**問** 村広報紙7月号では、警戒レベル3と4で発令し、避難するところがある。村が発令する避難マニュアルはどうなっているのか。

また、村の3カ所の避難所対応可能なのか。

**答** 災害から住民の安全確保するため、状況に応じた避難情報の発令に努める。次に村の避難箇所

は赤阪小学校等6カ所指定しており対応可能と考えている。また、千早地区に新たな避難所整備を行っている。

**問** 災害時に職員が迅速、的確に行動する体制は。

① 通勤不可能なとき、職員の招集は何人か。また、非常事態に対応できる職員は。

② 村民からの被害報告は小字や通名で通報が入ることもある。若手職員がい。

多い今、把握されているのか。

③ 若手職員の研修は。④ 災害対応された職員の健康管理は。

**答** ① 災害の規模で4段階の配備基準を設定している。

② 職員研修を実施し、若手職員の意識づけする。

③ 若手職員に対し、早急な研修を実施していく。

④ 配備態勢を取った職員には、休暇・休息を取るなど健康管理に努める。

**要望** 村民の安全確保が一番であるが、組織全体で職員の健康管理についても十分配慮してほしい。



指定避難所（赤阪小学校体育館）

# 活動報告

▼令和元年度議員セミナーが7月29日にシテイプラザ大阪にて開催されました。

題材は「位置情報×ビッグデータで切り拓く我がまちの未来」2018年大阪北部地震を振り返りながら」とスマートフォンでの位置情報データを活用した解析事例の紹介でした。

講師としてソフトバンクの柴山和久氏が熱演され、初めて聞く言葉が多く主に位置情報連携や流動人口データなどで東京五輪や大阪北部地震時の人の流れを把握して国府に提供しているとのことでした。



議員セミナー



弁当給食試食

▼10月11日、村立学校給食センターが毎年小・中学校に行事食として実施している「弁当給食」を試食しました。

朝早くから心をこめて作られた手づくりの「鶏のから揚げ」や「切干大根の煮物」などおいしくいただきました。農振連絡協議会加工部で作っている「千早漬」も入っていました。

村の学校給食は平成5年度から始まり「アレルギー対応」「手づくり」「地場産物の活用」にこだわり村の自慢です。

村の子どもたちが毎日元気に過ごせるよう、安全安心でおいしい給食の提供とともに、食べることの大切さを伝えていただきたいと思います。

## 議会を傍聴

しませんか？



### 次回定例会の予定

12月3日(火)から12月24日(火)です。  
12月3日 本会議  
12月24日 本会議（一般質問）  
開会時間はいずれも午前10時です。  
このほか、各委員会なども開かれます。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

## 雑感

今回の一般質問、紙幅の都合で2問までの掲載となっているが、実はもう1問問うている。

テーマは地域おこし協力隊。せっかくなのでこの場を借りて彼らについて少し書いてみたい。

ご存知の方も多いと思うが、現在千早赤阪村では2名の地域おこし協力隊が活動中だ。

1名は棚田での活動、もう1名は主に空き家対策や道の駅に関わってくれている。

地域おこし協力隊の目的は地域に溶け込みつつ、任期終了後の起業を目指す

すこと。

彼らの任期は3年。実は今年度が最終年となる。

そう、彼らは来年4月には起業していかなければならない立場なのだ。

議員である僕たちの力不足でもあるのだが、現在の千早赤阪村で起業していくことは並大抵のことではない。

なんとか困難に打ち勝って、これからの千早赤阪村をさらに盛り上げていってほしい。

村民のみなさんも、人生の貴重な3年を千早赤阪村のために使ってくれた若者2人の今後を、ぜひ暖かく見守ってあげてほしい。

A・T

## 広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		